

～淡路青少年 本部だより～

ヤングあわじ

2026年 3月 第61号

編集/発行



淡路青少年本部

事務局：兵庫県洲本市塩屋2-4-5
淡路県民局県民躍動室内
TEL 0799-26-2125
FAX 0799-24-6934



淡路青少年本部では、青少年を守り育てる県民スクラム運動に取り組んでいます。



淡路青少年の主張大会 表彰式

あわじ環境未来島体験ツアー
ピザづくり



あわじ環境未来島体験ツアー
吹き戻し製作



世代間
ふれあい事業 綿菓子づくり



小学生体験学習 ミニドローン体験



行動するに言葉あり

本部長挨拶



淡路青少年本部長
しみず てるお
清水昭男

春雨が一気に木の芽を膨らませる時節となり、別れと出会いが交錯する3月である。昨年、関西にゆかりのある坂口・北川両氏にノーベル賞が授与された。両者の研究が認められず、耐える時期があった。そんな時でも強く背を押した「一つ・ひとつ」・「無用の用」という言葉である。誰にでも逆境のときに現れる言葉があり、この力を借りて踏ん張れることがある。言葉は言霊といって「見えない力」を宿すと昔人は思った。「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」・・・そんな日常の言葉掛けにも心を和らげ、距離感を縮めるものである。言葉は自らを励まし、相手を慮(おもんばか)る力を持つ。実は私にもそんな言葉「人生にムダなし」がある。置かれた立場を享受し、損得ではなく、前向きに考え、どんなことにも進んでいける覚悟でもある。

それぞれの場で青少年と関わって頂いている皆様もそんな自らを言葉に発して頂きたい。そして多様ないまを見つめ、それぞれの活動が近未来に繋がるものと信じ、ともに歩んで参りましょう。

皆さま方には従前にも増してご支援ご協力を切にお願いし、巻頭とします。感謝!

第41回 淡路青少年の主張大会

<令和7年8月30日(土) ～洲本市五色文化ホール～>

青少年自ら社会の一員としての役割と責任を自覚するとともに、大人世代が青少年への理解と関心を深めるための機会とするため、青少年が日頃抱いている思いや考えを自分自身の言葉として文章にまとめ、発表する大会を開催しています。

日頃の体験から考え伝えたいこと、淡路島の魅力、将来の夢など生き生きとした主張作文が届き、事前審査により選考された12名が大会で熱い思いを発表しました。



応募総数 小学生高学年の部 38名、中学生の部 211名 計249名

小学生高学年の部

最優秀賞	南あわじ市立福良小学校	6年	前川 綾美	「ありがとうで一日分の幸せを」
優秀賞	南あわじ市立福良小学校	6年	森崎 颯仁	「みんなに安心を」
奨励賞	淡路市立津名東小学校	5年	島村 海音	「ふたりの夢」
入選	淡路市立志筑小学校	6年	桑名 咲羽	「私が思う一番のあこがれ」
入選	淡路市立志筑小学校	6年	近藤 真矢	「大切な人とのおわかれ」
入選	洲本市立鮎原小学校	6年	岡 樺恋	「世界に伝えたい日本食の良さ」

中学生の部

最優秀賞	淡路市立岩屋中学校	3年	荒畠 翠月	「未来は希望」
優秀賞	淡路市立東浦中学校	2年	豊田 唯華	「あの日、命がつながった」
奨励賞	洲本市立安乎中学校	3年	瀬原 百萌	「七人の神様に感謝」
入選	洲本市立由良中学校	3年	中村 太一	「生態系を守る」
入選	洲本市立五色中学校	3年	三宅 春樺	「気候変動の現状」
入選	南あわじ市立南淡中学校	3年	堀 柚子葉	「体に感謝」

中学生の部最優秀賞の荒畠翠月さん

第47回少年の主張兵庫県大会で審査員特別賞を受賞!

<令和7年9月27日(土)～ 神戸クリスタルタワー クリスタルホール～ >



淡路青少年本部長賞表彰

<令和7年6月18日(水) ～兵庫県洲本総合庁舎3階会議室～>

淡路地域において日頃青少年活動を通じてこころ豊かな地域づくりに貢献している個人及び団体を顕彰し、その活動のさらなる飛躍を期待して淡路青少年本部長賞を贈呈しています。

《青少年・指導者(個人)の部》

- 岸元 秀利さん (南あわじ市)
5期修了後500人委員淡路連絡会の本部役員やこうのとりの大使、自然保護やレクリエーション活動を通じて、仲間づくり・遊び・自然とのふれあい等青少年の健全育成に尽力されています。
- 門田 照子さん (南あわじ市)
青少年の非行防止に貢献されてきたことに加え、民生委員や主任児童委員としての活動を通じて、青少年の健全育成活動にも献身的に取り組まれています。
- 佐竹 清志さん (洲本市)
日頃より生活環境の浄化活動の推進や、市内の大規模イベント時には街頭補導活動を積極的に実施する等、洲本少年補導員として地域防犯、青少年健全育成活動で活躍されています。
- 市川 富夫さん (南あわじ市)
地域の小中学生との合同清掃活動、伝承遊びの継承、地元行事に協働参加するなど、地域に根ざした文化や郷土の歴史を次世代に伝えることに大きく貢献されています。



淡路こうのとりの大使による縁結び交流会

独身男女の出会いを支援する「淡路こうのとりの大使」を募集し、11名の方に委嘱しました。淡路島にゆかりのある方を対象とした縁結び交流会を令和7年10月25日(土)と令和8年2月8日(日)に実施し出会いの場を提供。昨年2月の縁結び交流会でカップルになられた方から11月にご成婚のうれしい報告がありました。





小学生体験学習事業「親子deドローン体験」～ドローン操作体験で広がる未来への想像～

<令和7年7月30日(水) ～淡路文化会館 講堂～>

最近さまざまな分野で活躍しているドローンの操縦体験会を開催しました。会場には小学1年生から6年生までのお子さんと保護者、合わせて82名が参加。初めてドローンに触れる方も多く、会場は開始前からワクワクした雰囲気になっていました。

体験会はまず、淡路島ドローンクラブのインストラクターによるミニ講座からスタート。ドローンの仕組みや安全な飛行のためのルール、操縦の基本操作を学んだ後いよいよ実践へ。最初は慎重にコントローラーを握っていた子どもたちも、数分後にはスムーズな離陸や旋回を披露。親子で協力しながらコースをクリアする姿が印象的でした。子どもたちは、ドローンの魅力と可能性を強く感じたようで、次は屋外でももう少し難しい操作に挑戦したいと目を輝かせていました。



ご支援に厚く御礼申し上げます

「ひょうご子ども・若者応援団」

ひょうご子ども・若者応援団は、企業や社会奉仕団体から提供していただく様々な資源と、青少年育成活動に取り組む団体やグループを結びつけ、地域の青少年活動の活性化を進めています。※資源の提供を受けるには審査が必要です。

※ご提供いただいた企業の皆様、ありがとうございました。

◆令和7年度 物資をご提供いただいた企業(アース製薬(株)、植垣米菓(株)、江崎グリコ(株)、神戸ロータリークラブ、生活協同組合コープこうべ、サントリープロダクツ(株)高砂工場、(株)マルハン新大蔵谷店、加古川店)(敬称略)

◆淡路ヤクルト販売(株)様より 今年もたくさんの飲料を提供いただきました。一例を紹介します

「淡路ブロック子ども会連絡協議会 オセロ大会・将棋大会」8月(洲本市)

「第41回淡路青少年の主張大会」8月(洲本市)

「第18回南あわじランニングフェスティバル」2月(南あわじ市)



淡路地域「子どもの冒険ひろば」紹介

地域住民が運営する野外の自由な遊び場です。子どもたちが、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを原則に自由な発想で遊ぶことができる「子どもの冒険ひろば」へ行こう!!

※利用の際は事前にお問い合わせ下さい。



淡路島冒険の森

淡路市楠本場314

- 開催曜日・時間
毎月第3日曜日10:00～16:00
- 問い合わせ先
子ども自然体験村運営委員会
担当:小南 TEL:090-4496-8066

里山基地

南あわじ市伊加利山口

- 開催曜日・時間
毎月第2日曜日10:00～14:00
- 問い合わせ先
アルファグリーンネット西淡
担当:武田 TEL:090-7553-9492

里山アップフィールド

洲本市宇原1910

- 開催曜日・時間
毎月最終日曜日10:00～15:00
- 問い合わせ先
里山アップフィールド
担当:上原 TEL:090-7105-3895

まんまるプレーパーク

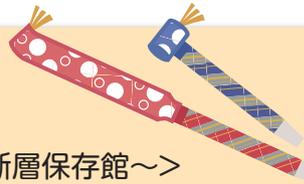
淡路市上河合

- 開催曜日・時間
祝日・月曜日その他不定期11:00～14:30
- 問い合わせ先
森のようちえん まんまる
e-mail:awaji.manmaru@gmail.com
https://awaji-manmaru.com/

あわじ環境未来島体験ツアー

<令和7年11月22日(土)
～AWAJI EARTH MUSEUM・吹き戻しの里・野島断層保存館～>

あわじ環境未来島構想推進協議会との共催で、島内の取り組み現場等の見学・体験を通じて淡路島の将来を考える体験ツアーを実施しました。自然体験型ミュージアム「AWAJI EARTH MUSEUM」で淡路島内の食材を使ったオリジナルピザとスープづくりをして美食。ピザ窯「アースオープン」から焼きたてのピザが出てくると一気に食欲をそそる香りがいっぱいになり、家族と一緒にほおぼる瞬間は、格別の美味ささと達成感に包まれました。吹き戻しの里では、淡路島の名物玩具「吹き戻し」の歴史や作り方を学んだ後、世界にひとつだけのオリジナル吹き戻しを製作。完成後は、肺活量を試すチャレンジや吹き戻しゴルフやサッカーを楽しむ等昔懐かしいおもちゃを通して、世代を超えて笑顔になれるひとときを過ごしました。また野島断層保存館では、断層やメモリアルハウスの見学のほか、VRを使用した震災体験も行い地震に備える大切さを学びました。



令和7年度 ころも豊かな人づくり500人委員 淡路連絡会の活動

「ころも豊かな人づくり500人委員」の修了生で組織され、淡路青少年本部や地域団体と連携し、青少年育成活動に寄与しています。阿万地区でのHallowe'enイベントやあわぢカラフェスティバルでは、昔懐かしい綿菓子や輪投げ、バルーンアートの体験コーナーで出店。子どもたちはふわふわの色付き綿菓子を作ったり、バルーンアートで遊んだりして楽しみました。また青少年関連の事業では、子どもたちの見守りや安全確保をしながら、共に学び交流を深めました。



【活動の一部】

	イベント名	主催等	内容
7月	ミニドローンの操作研修	500人委員淡路連絡会	ドローン研修
7月	小学生体験学習(親子 de ドローン体験)	淡路青少年本部・淡路島ドローンクラブ	運営補助
8月	淡路青少年の主張大会	淡路青少年の主張大会実行委員会	運営補助
10月	旧海軍鶴野飛行場跡見学(加西市)	500人委員淡路連絡会	役員研修
10月	阿万ハロウィンイベント	阿万地区地域おこし団体等	制作指導
11月	はじまりの島あわぢカラフェスティバル2025	あわぢカラフェスティバル2025実行委員会	世代間交流
12月	成ヶ島クリーン作戦	由良中学校生徒会・成ヶ島を美しくする会	清掃活動
10・2月	縁結び交流会(年2回)	淡路こうのとり大使・淡路青少年本部	企画・運営

令和7年度 淡路ブロック子ども会連絡協議会の活動

子どもたちの思考力、判断力を養うとともに相互の友情と親睦を深めるために「オセロ大会」「将棋大会」を開催しています。各市子ども会の予選を勝ち抜いた各部門12名で腕を競い、オセロ大会の入賞者は県大会に出場。吉岡陽翔さん(洲本市)2位、立田葵椰さん(南あわじ市)が8位に入賞しました。

【オセロ大会入賞者】

◆小学生低学年の部

- 優勝 南あわじ市立賀集小学校3年
- 準優勝 淡路市立学習小学校2年
- 第3位 洲本市立第二小学校3年
- 第4位 淡路市立一宮小学校3年

◆小学生高学年の部

- 優勝 洲本市立大野小学校4年
- 準優勝 南あわじ市立八木小学校5年
- 第3位 洲本市立第二小学校4年
- 第4位 南あわじ市立榎列小学校6年



【将棋大会入賞者】

◆小学生低学年の部

- 優勝 淡路市立津名東小学校3年
- 準優勝 南あわじ市立広田小学校3年
- 第3位 淡路市立志筑小学校3年
- 第4位 淡路市立浦小学校2年

◆小学生高学年の部

- 優勝 淡路市立学習小学校4年
- 準優勝 南あわじ市立市小学校5年
- 第3位 南あわじ市立神代小学校6年
- 第4位 淡路市立志筑小学校5年

- 西垣直穂
- 藤川沙良
- 久米宰平
- 水上悠真
- 岡田卓三
- 片山蒼泰
- 木田一汰
- 山田煌大



令和7年度 淡路青少年本部会議

＜令和7年6月18日(水)～兵庫県洲本総合庁舎3階会議室～＞

自治会や老人クラブなどの地域団体、子ども会やボーイスカウトなどの青少年育成団体、PTAや学校関係、警察、行政などの構成団体が参集し、淡路青少年本部会議を開催しました。令和6年度事業報告・決算、令和7年度事業計画・予算、役員選出について審議いただき、原案どおり可決されました。

令和7年度事業

● 青少年育成活動

- ・ 青少年を守り育てる県民スクラム運動の展開
- ・ 淡路青少年の主張大会の開催
- ・ 小学生体験学習事業「親子deドローン体験」の実施

● 人材育成活動

- ・ 育成活動への顕彰

● 団体・グループへの支援事業

- ・ ひょうご子ども・若者応援団事業の実施



● 男女の出会い支援事業

- ・ 淡路こうのとりのり大使による縁結び交流会の開催

● 情報発信事業

- ・ 淡路青少年本部HP、フェイスブックによる情報発信
- ・ 機関誌「ヤングあわじ」の発行
- ・ 啓発グッズの作製・配布

令和7年度 青少年育成淡路地域スクラム会議

淡路青少年本部会議に引き続き、淡路地域の青少年の健全育成や育成環境の浄化、非行・被害防止等を図るため、青少年育成淡路地域スクラム会議を開催しました。

南あわじ警察署刑事生活安全課長から青少年問題の現状と課題について報告いただいた後、各団体の取り組みの報告や課題についての意見交換を行いました。

また、12月にはカラオケハウス、玩具類、図書類販売店、携帯電話ショップ等に対して、県・市の青少年センター・警察が合同で青少年愛護条例に沿った営業が行われているか実態調査を行いました。



ネットトラブルから青少年を守ろう

～家族で考えよう!ネットのルール～

インターネットは使い方を間違えるとトラブルや犯罪に巻き込まれる危険があります。子どもたちをネットトラブルから守るためにも、家族で話し合ってルールづくりが大切です。

【ルールづくりの3つのポイント】

- 1 家族で話し合う
子どもと保護者で話し合い、お互いに納得したルールを作りましょう
- 2 定期的に見直す
子どもを取り巻く環境の変化に応じて、定期的に見直しましょう
- 3 制限できるツールを活用する
危険なサイトやアプリをブロックしたり、ネットの利用時間を制限できる「ペアレンタルコントロール」(フィルタリング)を上手に活用しましょう

*淡路青少年本部では啓発グッズを作製し、自主事業やイベント等で配布するなど注意を呼びかけています。



ひょうご青少年憲章

- 1 自分を大切にし、自らを律し、行いに責任をもって生きていこう
- 2 ふれあいを深め、正義感をもち、社会を担う一人として生きていこう
- 3 人の痛みや喜びを感じあえる心をもって生きていこう
- 4 多様な人々の存在を受け入れ、ともに支えあって生きていこう
- 5 自然を愛し、生命を尊び、みえない世界にも襟を正して生きていこう
- 6 先人に学び、明日に夢をえがき、勇気をもって未来を拓いていこう



平成12年3月15日制定 新兵庫県青少年憲章制定県民会議

淡路青少年本部構成団体

●洲本市青少年問題協議会 ●南あわじ市青少年問題協議会 ●淡路市青少年問題協議会 ●淡路ブロック子ども会連絡協議会 ●日本ボーイスカウト兵庫連盟淡路地区協議会 ●ガールスカウト兵庫県連盟淡路地区 ●洲本市野外活動協会 ●兵庫県青年洋上大学淡路地区同窓会 ●一般社団法人淡路青年会議所 ●洲本商工会議所青年部 ●淡路地区商工会青年部連絡協議会 ●三原ライオンズクラブ ●国際ロータリー第2680地区淡路グループ ●国際ソロプチミスト淡路 ●こころ豊かな人づくり500人委員淡路連絡会 ●兵庫県BBS連盟淡路地区会 ●淡路地区連合自治会 ●淡路ブロック老人クラブ連絡協議会 ●洲本市PTA連合会 ●南あわじ市連合PTA ●淡路市PTA連合会 ●淡路地区薬物乱用防止指導員協議会 ●兵庫県保育協会淡路支部 ●淡路地区幼稚園・こども園長会 ●淡路地区小学校生徒指導担当者会 ●淡路地区中学校生徒指導連絡協議会 ●高等学校生徒指導協議会淡路支部 ●蒼開中学校・高等学校 ●イオンリテール㈱イオン洲本店 ●洲本市立青少年センター ●南あわじ市青少年育成センター ●淡路市立青少年センター ●兵庫県中央子ども家庭センター洲本分室 ●淡路教育事務協議会 ●兵庫県教育委員会淡路教育事務所 ●洲本警察署 ●南あわじ警察署 ●淡路警察署 ●淡路保護区保護司会 ●淡路市婦人会 ●兵庫県書店商業組合淡路支部 ●淡路県民局 (※敬称略)

賛助会員ご芳名 青少年の健全育成活動のために賛助いただき誠にありがとうございました

(令和7年4月～令和8年2月までに賛助下さった方)

個人会員

今谷 正・磯見 峯子・一貫田 達也・上田 治子・榎本 昭博・大谷 真智子・岡本 保彦・奥井 光子・奥田 豊子・門田 照子・狩野 道子・亀井 浩之・川井 史彦・河野 さかゑ・岸元 秀利・北崎 かづ子・桐原 紀子・熊代 由加里・鯉森 卓子・才神 功路・笹山 孝・佐竹 直美・清水 昭男・清水 美登里・庄田 康夫・瀬尾 真未・高木 文也・鷹巣 恭宏・高田 和子・多田 和博・多田 耕造・田中 久己・谷 みよ子・角村 和也・富永 正貴・仲岡 啓子・仲野 孝夫・仲野 知子・長嶺 拓司・中村 隆哉・人形寺 祥弘・東尾 憲秀・平岩 一宏・廣田 利幸・藤本 裕子・細谷 頼子・本條 滋人・本名 孝至・松田 哲朗・森 敦子・米田 佳実・和田 有美子 (五十音順・敬称略)

団体会員

淡路信用金庫・淡路ブロック子ども会連絡協議会・淡路保護区保護司会・一般財団法人淡路島くとうみ協会・学校法人柳学園(蒼開中学校・高等学校)・国際ソロプチミスト淡路・こころ豊かな人づくり500人委員淡路連絡会・成ヶ島を美しくする会・南あわじ市青少年育成センター・ユアールエー株式会社 (五十音順・敬称略)

賛助会員加入のお願い ー青少年健全育成のために、ご協力をお願いいたしますー

淡路青少年本部では、皆様からいただいた賛助会費をもとに、青少年が豊かな創造性と社会性と自立性を備えた大人に成長することを願い、青少年の健全育成に向けた様々な自主事業を進めています。ぜひ、賛助会員にご加入いただき、ご支援くださいますようお願い申し上げます。



主な自主事業

- 淡路青少年の主張大会
- 淡路青少年本部長表彰
- 小学生体験学習事業
- 淡路こうのとり大使による縁結び交流会など

賛助会費

個人会員	年間1口 2,000円
団体会員	年間1口 10,000円



※ご協力いただいた賛助会費は、特定公益増進法人への寄付として、所得税の税額控除など税制面の優遇措置が受けられます。